

2023年度 文部科学省 委託事業
日本語能力評価方法の改善のための調査研究

外国につながる児童生徒のための
ことばの力の評価ワークショップ

参加者募集のお知らせ

募集期間 2023年5月22日～6月25日

<お問い合わせ先（事務局）>

東京外国語大学 多言語多文化共生センター
(担当:増谷、小段)

東京都府中市朝日町3-11-1

TEL : 042-330-5908 (直通/平日8時半～17時)

メール : hyouka-chousa@tufs.ac.jp



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

1. 趣旨と目的

東京外国語大学は、文部科学省から「日本語能力評価方法の改善のための調査研究」事業を受託し、児童生徒の日本語能力を評価するとともに、日本語指導の目標や指導内容決定の基礎となる能力記述文（Can-Doリスト）を作成しています。

そこで、本事業の一環として東京外国語大学多言語多文化共生センターでは、文化的言語的に多様な背景をもつ外国につながる児童生徒のための「**ことばの力の評価ワークショップ**」を企画しました。このワークショップを通じて、参加者の皆さんは、**小学1年生から中学生・高校生までの各年齢枠のステージ1～6別のことばの力**を包括的に捉えることができ、児童生徒の日本語力の実態（年齢やレベル）に応じた支援の方法をより専門的に考えることができるでしょう。

なお、ワークショップ参加者の皆さんに確認していただいた能力記述文（CAN-DOリスト）のデータを基に、私たちは評価ツールの妥当性の検証を行い、子どもの言語能力の公正な評価の枠組みの構築をめざします。この委託事業によって、外国につながる児童生徒の義務教育段階から高校段階へのスムーズな進学を後押しするとともに、日本語指導が必要な児童生徒が抱えることばの発達や公立高校における中退率の高さなどの課題解決に貢献できると、私たちは確信しています。

2023年度文部科学省委託事業「日本語能力評価方法の改善のための調査研究」事業推進委員長
小島 祥美（東京外国語大学准教授／多言語多文化共生センター長）

2. ワークショップの内容

めざすことは、外国につながる児童生徒の「ことばの力」をどのように引き出し、どのように捉えて評価するかの方法（スキル）の習得です。

<具体的な方法>

文部科学省発行「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」の「聞く・話す」と「読む」について、



- ①実際の公立小中高校に通う外国につながる児童生徒にDLAを実施している映像（1本約30分、計30本）を視聴しながら、
- ②開発中（2025年末以降に公開予定）の能力記述文（CAN-DOリスト）にそって児童生徒が「できること」を確認していきます。

3. ワークショップの日程など

①日程：2023年10月～2024年3月（月1回、計6回）

第1～5回は9時30分～17時、第6回は午前のみ

（昼休憩1時間含みます。場合によっては、早めに終了する日も有ります）

	日程	視聴する実際のDLA映像（計30本）
第1回	10月28日（土）	14才以上の中学生・高校生のステージ1～6（6本）
第2回	11月19日（日）	11～14才のステージ1～6（6本）
第3回	12月16日（土）	9～11才のステージ1～6（6本）
第4回	1月21日（日）	7～9才のステージ1～6（6本）
第5回	2月18日（日）	6～7才のステージ1～6（6本）
第6回	3月16日（土）	振り返り

視聴する映像のDLA実施者 *文部科学省外国人児童生徒等教育アドバイザー

櫻井 千穂*（大阪大学大学院） 横溝 亮*（横浜市教育委員会）

大菅 佐妃子*（京都市教育委員会） 野入 はる香（豊田市立中学校）

ワークショップ当日の進行は、本事業推進委員の小島祥美*（東京外国語大学）、
櫻井千穂*（大阪大学大学院）、佐野愛子（立命館大学）等が担当します。

②実施方法：オンライン（Web会議システム・Zoom）

4. 応募方法など

「ことばの力の評価についての専門性を高めたい！」という意欲に溢れる方を **100名募集** します。参加費は、**無料** です。

参加者には、本ワークショップ修了証を贈呈します。

<応募方法>

以下のGoogleフォームに必要事項を記入の上、**2023年6月25日**までにお申し込みください。締め切り後に、応募時の申請内容をもとに選考を行います（選考終了後、応募者に結果をご連絡します）。

なお、申し込み多数の場合は、小・中・高校等で外国につながる児童生徒に日本語指導・教科学習支援を行っている先生方・支援員の方を優先いたします。ご理解のほど、どうぞよろしくお願い致します。

<https://forms.gle/yp99QVSmajgps98M6>

<ご応募にあたって、お願いしたいこと（応募資格）>

文部科学省委託事業として取り組む、評価ツールの妥当性の検証へのご協力に加えて、以下の3点をお願いします。

- ①オリエンテーション（オンデマンド）および6回のワークショップ（オンライン）に、**すべて出席** 下さい。なお、やむを得ない事情により、参加できない回がある場合は、応募フォームの備考欄に詳細（日程、理由など）をお書きください。
- ②ワークショップではWeb会議システム（Zoom）とGoogleフォームを活用するため、同時に利用できる環境を各自で準備ください。
- ③ワークショップは日本語で行うため、グループでの作業や話し合い等に支障がない程度の日本語力が必要です。

5. 今後について

2023年10月～2024年2月の間、本ワークショップとは別に、各地で活躍されている活動者（コーディネーター）による「地域別ワークショップ」も、地域別に開催します。

本ワークショップでは、小学校1年生から中学生・高校生までの各年齢枠のステージ1～6別の映像（1本約30分×5区分の年齢枠＝計30本）を視聴しますが、地域別ワークショップでは、1つの年齢枠のステージ1～6別の映像（1本約30分、計6本）を視聴しながら、対面形式で行います（一部、複数の年齢枠の映像を用いたり、オンラインで実施したりする地域も有ります）。

■地域別ワークショップのコーディネーター（敬称略）

	名前	所属
①北海道・東北地区	1 吉田 美穂	弘前大学大学院 教授
	2 内海 由美子	山形大学 教授
②関東地区	3 河野 俊之	横浜国立大学 教授
	4 嶽肩 志江	横浜国立大学 非常勤講師
	5 宮崎 幸江	上智大学 教授
	6 大久保 真吾	埼玉県八潮市立松ノ木小学校 教員
③北陸・甲信・東海地区	7 原 瑞穂	上越教育大学大学院 准教授
	8 川口 直巳	愛知教育大学 准教授
	9 菅原 雅枝	愛知教育大学 准教授
	10 西山 幸子	愛知教育大学 日本語教育支援センター助手
	11 各務 眞弓	NPO法人可児市国際交流協会 事務局長
	12 近藤 利恵	NPO法人可児市国際交流協会 事務局長次長
④近畿地区	13 菊池 寛子	西尾市教育委員会 日本語教育指導アドバイザー
	14 門脇 薫	摂南大学 教授
	15 和泉元 千春	奈良教育大学 教授
⑤中国・四国地区	16 米澤 千昌	大阪教育大学 特任講師
	17 江口 修三	広島県呉市立白岳小学校 教員
	18 中石 ゆうこ	県立広島大学 准教授
⑥九州・沖縄地区	19 家根橋 伸子	東亜大学 教授
	20 立山 愛	多文化こどもネットワークいろは 代表
	21 吹原 豊	福岡女子大学 教授
	22 高橋 美奈子	琉球大学 准教授

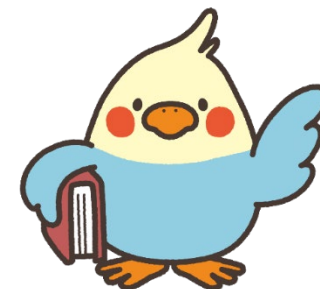
地域別ワークショップに関する詳しい開催日や申し込み方法等については、後日（2023年8月以降）、東京外国語大学多言語多文化共生センターのホームページ等でご案内します。

なお、本ワークショップと地域別ワークショップの両方参加は不可です。

<2023年度 文部科学省委託事業推進委員 (順不同) >

日本語能力評価方法の改善のための調査研究

阿部 新 (東京外国語大学大学院 准教授) 小島 祥美 (東京外国語大学 准教授/多言語多文化共生センター長)
嶋原 耕一 (東京外国語大学 講師) 武田 千香 (東京外国語大学 学長特命補佐/教授)
伊東 祐郎 (東京外国語大学 名誉教授/国際教養大学専門職大学院特任教授)
小林 幸江 (東京外国語大学 名誉教授) 伊澤 明香 (関西大学 准教授)
榎井 縁 (大阪大学大学院 特任教授) 小貫 大輔 (東海大学 教授)
櫻井 千穂 (大阪大学大学院 准教授) 佐野 愛子 (立命館大学 教授)
高橋 清樹 (認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ 事務局長)
ダグラス 昌子 (カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 名誉教授)
中島 和子 (トロント大学 名誉教授) 野口 裕之 (名古屋大学 名誉教授)
真嶋 潤子 (大阪大学 名誉教授) 松田 真希子 (東京都立大学 教授)
三輪 聖 (チュービンゲン大学 専任講師)



独立行政法人国際協力機構JICA 磯貝 白日 (外国人材受入支援室副室長) 澁谷 和朗 (中国センター市民参加協力課長)

福井県立足羽高等学校 竹本 俊穂 (校長) 愛知県立衣台高等学校 杉本 明隆 (校長)
岐阜県立東濃高等学校 吉田 益穂 (校長) 大阪府立大阪わかば高等学校 大西 俊猛 (校長)
大阪府立西成高等学校 山田 勝治 (校長)

神奈川県教育委員会 田中秀樹 (高校教育課 主任主事兼指導担当主事) 大山 聡 (子ども教育支援課 指導主事)
岐阜県教育委員会 堀 貴雄 (教育長)
大阪府教育委員会 橋本 正司 (教育長)
兵庫県教育委員会 今川 美幸 (人権教育課 主任指導主事兼指導・事業班長)
横浜市教育委員会 横溝 亮 (小中学校企画課 指導主事) 土屋 隆史 (横浜吉田中学校 副校長)
豊田市教育委員会 小山 幾子 (学校教育課長) 平吹 洋子 (外国人児童生徒等サポートセンター 教育アドバイザー)
野入 はる香 (豊田市立中学校 教諭)
西尾市教育委員会 榊原 英一郎 (学校教育課 指導主事)
京都市教育委員会 大菅 佐妃子 (学校指導課 副主任指導主事)
芦屋市教育委員会 小西 三枝 (学校支援課 主査)